

つくり育てる漁業・水産物ブランディング振興 特別委員会

日時 令和8年3月18日（水）
午前10時
場所 第四委員会室

○ 議 題

《商工課》

- 1 令和7年度 海外販路拡大事業について

《水産事務所》

- 2 つくり育てる漁業の進捗について

令和7年度 海外販路拡大事業について

1 北米事業

(1) 事業内容

① バイヤー招へい商談会

- ・内 容：米国オレゴン州にある日系スーパーマーケット「UWAJIMAYA」のバイヤーと
 商社担当者を八戸市に招へいし、商談を実施。
- ・開催期間：令和7年5月21日（水）～22日（木）

② 現地店舗でのフェア開催

- ・内 容：「AOMORI FOOD FAIR」を「UWAJIMAYA ビーバートン店」で開催し、上記①の
 商談会で成約した商品の販売及びプロモーション販売を実施。
- ・開催期間：令和7年9月17日（水）～30日（火）
 ※プロモーション販売は、9月26日（金）～28日（日）

(2) 参加企業 八戸圏域企業 10社（うち市内水産関連企業5社）

No.	事業者名	現地渡航	販売（商談成約）商品
1	株オフィス弁慶	○	真いか一夜干し
2	武輪水産株		八戸たけわ食堂
3	株ディメール		しめさば、鯖の冷燻
4	株ヤマヨ		いかなめろう、濃厚塩辛
5	株吉田屋	○	八戸小唄寿司 他

2 ASEAN 事業

(1) 事業内容

① 現地店舗でのフェア開催

- ・内 容：「AOMORI FAIR」をシンガポール国内にある店舗兼レストラン「sake+」及
 びスーパーマーケット「SAKURAYA パークウェイパレード店」で開催し、販
 売、プロモーション販売及び飲食店での限定メニュー提供（「鯖の冷燻を
 使用したパスタ」や「ウニとホタテのおつまみ」等）を実施。
- ・開催期間：令和7年11月22日（土）～30日（日）
 ※プロモーション販売は、11月22日（土）～23日（日）

② 現地バイヤー等との商談会

- ・内 容：現地バイヤーや飲食店関係者との商談を実施。
- ・開催期間：令和7年11月24日（月）

(2) 参加企業 八戸圏域企業 8社（うち市内水産関連企業3社）

No.	事業者名	現地渡航	販売（商談成約）商品
1	株味の加久の屋	○	旨ゆで湯上り帆立、さば味噌煮、等
2	株ディメール	○	鯖の冷燻、鯖の冷燻ソルト&ペッパー
3	フードアドバンス株	○	三陸産ブランディングウニ

【参考】

○北米事業

バイヤー招聘商談会



商談会の様子

AOMORI FOOD FAIR



フェア会場の様子



冷凍庫で販売される水産加工品

○ASEAN 事業



SAKE+での AOMORI FAIR の様子



「SAKURAYA」パークウェイパレード店でも同時開催



飲食店での限定メニュー（一部）



商談会の様子

つくり育てる漁業の進捗について

1 産学金官連携によるマツカワの陸上養殖事業

(1) 現在の生育状況

	(全長)	(体重)	(備考)
R7/ 6月	5 cm	3 g	種苗 3,000 尾を投入 (養殖開始)
7月	9 cm	12 g	
8月	15 cm	28 g	種苗 1,200 尾を追加
9月	15 cm	50 g	
10月	20 cm	140 g	
11月	22 cm	200 g	
12月	26 cm	350 g	
R8/ 1月	28 cm	430 g	
2月	32 cm	490 g	

※上記測定値は、同一個体ではないため参考値 (各月概ね下旬に測定)

- 魚病等は発生しておらず、生育は概ね順調
- 形態異常や生育不良個体の取り除き等により、2月末現在 約3,000尾を養殖中



(2) 今後の検討事項

- 本年夏頃の初出荷に向けた販売戦略の立案
- お披露目を兼ねた試食会の開催
- 高付加価値化に向けた「活け締め」・「神経締め」による出荷体制の構築
- 飼育水加温に伴う冬季電気コストの抑制対策 (次の冬季までに)

2 市川沖でのカキ養殖試験

(1) 経過

(経過)	
R7/ 11月	沖に設置していた養殖施設2ヶ統の破損を確認 (第1回種苗、第2回種苗あわせて3,000個超が所在不明)
～現在	八戸みなと漁協がダイバーによる探索を検討するも未実施 理由：この間、定置網の修理作業が重なったほか、強風や高波の影響で出港できない日が多く、ホッキ漁もある中でダイバー探索の日程を確保できなかったため。 破損した施設が漂流・漂着していないか継続的に観測中

(2) 第3回種苗の状況

	(個数)	(平均重量)	(備考)
R7/ 9月	1,600個	3.4g	入荷後、市川漁協船溜まりで養生
R8/ 2月	約1,000個	19.5g (大サイズのみ)	引き続き船溜まりに留置

※「平均重量」は測定用サンプルの平均値



(3) 今後の予定

引き続きダイバーによる探索の機会を窺いつつ、並行して施設の再設置に向けた資材調達を進め、準備が整い次第、施設の再設置と第3回種苗の沖出しを行う。(但し、今後の海況次第では、施設再設置のタイミングに合わせてダイバーによる探索を実施する可能性あり)